

栃事研会報



第80号

栃木県公立小中学校事務職員研究協議会

編集発行人 岡崎 信二

<主な内容>

- ・会長あいさつ、副会長あいさつ … 1
- ・栃事研研修会並びに総会レポート … 2
- ・事務局紹介、お知らせ… 3
- ・専門部紹介 … 4

栃事研HP <http://tochijiken.org/>

会長あいさつ

栃事研会長 岡崎 信二



5月24日の総会におきまして再任をご承認いただきました。3期目に入りますが、引き続き会長という重責を担うことになりました。これまで栃事研は、歴代会長のご尽力のもと、着実に発展、成長を遂げてまいりました。微力ではございますが、さらなる栃事研組織の充実を図り、新しい時代へ向けての基盤づくりをしていきたいと思っております。役員一同、総力を挙げて取り組みますので会員の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、今、栃木では宇都宮市における小中一貫教育地域学校園制度、採用前研修の制度化、「栃木県公立小・中学校事務共同実施推進のモデル」の通達、総務事務センターの開設、「総合庶務事務システム（仮称）」の稼働など、今後の学校事務、事務職員にとって重要な変化が起こっています。変化は、さらなる発展へのチャンスです。的確な判断・分析のもと実践、行動していくことが大切です。それには、共同実施組織を含めた会員、支部・市町事務研との一層の連携が重要になります。特に、会員に最も身近な組織である共同実施組織、市町事務研組織の役割は重要で、県や支部はその役割をしっかりと支えていくことが必要になります。

栃事研では、「とちぎの学校事務ビジョン」と実行策「チャレンジプラン」を策定しました。また、8月には第45回全国研究大会石川大会第1分科会提案を行います。「研修の体系化」がテーマです。大切なのは作ることでなく実行することです。会員の皆様のご支援、ご協力、何より「参画」が不可欠です。共に力を合わせて「とちぎの学校事務」を推進していきましょう。未来を見つめ進んでいきましょう。よろしくお願いいたします。

🐟・🌟・🐟・🌟・🌟・🌟・🌟・🌟・🌟・🌟 副会長あいさつ 🐟・🌟・🐟・🌟・🌟・🌟・🌟・🌟・🌟・🌟

副会長 岩木美津子

過日の総会において副会長に選出いただきました。栃事研との関わりは、もうずいぶん前に研究部員としてお世話になって以来です。微力ですが頑張ってお世話になっていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。この度、「とちぎ学校事務ビジョン」が策定され、併せて「とちぎチャレンジプラン」も実行策として提案されました。「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」実現のため、会員の皆様とともにチャレンジして参りたいと思いますので、ご指導ご協力をお願いいたします。

前副会長 仁平 昭

平成25年度の総会におきまして、副会長の大任を退くことになりました。

事務局担当の副会長として2年間、栃事研の活動に係らせていただきました。

この間の活動を通して「一人ひとりが協力して課題を解決していくことの大切さ」や「人を育てることの重要性」を知ることができたことは、私にとって財産となりました。

今後は、栃事研の一会員として協力していきたいと考えています。大変お世話になりました。

平成 25 年度栃事研研修会並びに総会

平成 25 年 5 月 24 日（金）、平成 25 年度栃事研研修会並びに総会が宇都宮市文化会館小ホールにおいて開催されました。



研修会Ⅰでは、岡崎会長から「とちぎ学校事務ビジョン」の説明がありました。「とちぎ教育振興ビジョン」の理念に基づき、とちぎの教育づくりを推進する学校事務の実現をめざし“3つの課題”と“7つの必要条件”による「とちぎ学校事務ビジョン」と実行策である「とちぎチャレンジプラン」についての説明がありました。

総会では昨年度の事業報告、決算報告及び本年度の事業計画、予算案について審議を行い、つつがなく承認されました。役員改選では、仁平副会長が退任され、後任として岩木副会長が就任しました。



続く研修会Ⅱでは、8月に行われる第45回全国公立小中学校学校事務研究大会（石川大会）において、とちぎが提案する分科会「イノベーション！質の高い教育の実現を目指して」— 学校経営ビジョン実現に迫るとちぎの基本戦略 — のプレ発表が石川大会プロジェクトチームを中心に行われました。このプレ発表では、「とちぎ学校事務ビジョン」と実行策「チャレンジプラン」の趣旨やねらい、内容等についての説明、採用前研修の制度化、共同実施推進のモデルの通達、小中一貫教育地域学校園制度導入に伴う地域学校園事務室による宇都宮市

の組織的取組など、栃木県の変化とそこから生じた課題とその解決に向け「事務職員の資質能力向上」の必要性が述べられました。また、これまでの研修活動の分析結果への対応、資質能力向上の手立てとして系統的・継続的な研修システム構築の重要性が挙げられました。研修部を中心とした「研修の体系化」がその具体的姿であり、

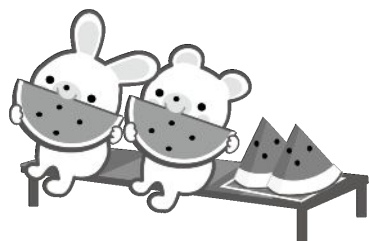
事務職員一人一人の実践と各組織の相互支援・相互補完の取組がイノベーションへとつながっていくことが伝わる研修会となりました。



平成 25 年度 事務局

栃事研は、子どもの豊かな育ちを支援する学校事務職員のために、活動を進めています。

事務局では、会員のニーズに応えられる研究大会や各種研修会の企画・運営、ホームページなどによる広報活動を各専門部、そして各支部の方々と協力して行っています。多くの会員の皆さまが、参加して下さること、希望とやる気を持って明日の事務職員を担っていかう！と感じて下さることを目標に、これからも部員一同邁進します。ぜひ部員となって一緒に実行していませんか！？いつでも歓迎です！！



総務部は「とちぎの学校事務（栃事研概要）」の作成・発行のほか、理事会・交流事業・学校事務研究大会等の運営を行います。また、関係諸機関・諸団体との連絡調整を行っていきます。円滑で効率的な会の運営に努めていきます。

財務部は、各種事業の円滑な実施を目指し、予算が適正に、そして有効に執行されるよう努めていきます。今年度も、部員4名、微力ではありますが栃事研活動の下支えができるよう尽力してまいりたいと思います。

広報部は、会報の作成をはじめ、栃事研HPの管理など広報活動の充実を図っています。ただいま、事務処理プログラムや事務だよりなどのデータを募集しています。一つのプログラムが多くの会員を支援することになりますので、皆様のご協力をお願いします。ご提供いただける場合は、hp@tochijiken.org まで送信してください。

♪♪♪ 栃事研からのお知らせ ♪♪♪

◎ステージⅠ（基礎的力量形成期）研修

7月2日（火） 学生協会館

※平成25年度新規採用事務職員対象

◎栃木県学校事務研究大会

11月22日（金） 宇都宮市文化会館

◎栃事研セミナー

8月19日（月） 富屋地区市民センター

◎関東地区公立小中学校事務研究大会 （群馬大会）

平成26年1月23日（木）～24日（金）

群馬県前橋市

◎全国公立小中学校事務研究大会 （石川大会）分科会発表

8月7日（水）～9日（金） 石川県金沢市

研修部



研修部は、平成 24 年度に引き続き、実行策「とちぎチャレンジプラン」に従って「研修の体系化」の研究・実践を進めていきます。

- 1 全国事務研究大会石川大会第 1 分科会提案：イノベーション！質の高い教育の実現を目指して
- 2 「研修の体系化」の継続研究と実践：啓発資料の作成、研修の振り返り等の実施と集約・活用
- 3 「研修の体系化」に基づく研修会の企画運営：ステージ I・IV 研修、第 11 回栃事研セミナー

「研修の体系化」による事務職員、個の力量形成には、組織間の相互連携、相互補完の構築が不可欠です。とちぎの事務職員が向かう方向を一つにし、取組む姿勢が、事務職員自身に、そして学校にイノベーションを起こしていくのだと考えています。イノベーションとは、技術的な革新にとどまらず、発想を変え、新たな価値観を生み出し変化を起こす活動です。これまでの事務観を変え、学校、保護者、地域との密接な連携のもと、子どもの学びや活動を創り上げていく、その期待と実現のために会員の皆様のご協力・ご支援をお願いします。

研究部



研究部は、とちぎの学校事務職員が学校経営に深く参画していくことを目指します。

今年度は

- 1 平成 28 年度関ブロ大会分科会提案を目指した研究を進めます。
- 2 栃木県公立小中学校事務研究大会の企画・運営を行います。
- 3 全国研究大会石川大会提案の企画運営に参画します。

また、「経営参画」についてのアンケート結果の分析等を行い、経営参画の意義や具体的内容について研究を深め、事務職員の未来像を展望していきます。ご理解とご協力をよろしく願います。

調査部



調査部では、会員の皆様、支部・市町を含めた研究・研修活動の充実支援に活用していただけるよう心を込めて「学校事務研究資料 '13」の作成、発行にあたります。

栃事研HPの「お知らせ」内に過去 2 年分入っておりますので、どんどんご活用していただければと思います。

また、アンケートや各種調査などで、会員の皆様にお願ひすることもたくさんあると思います。皆様のご意見、ご要望などをお聞きして、有効に研修・研究できるよう努めていきたいと思ひます。その際にはどうぞよろしくお願ひします。

☆ 編集後記 ☆

今年度も広報部では年 2 回の会報発行を予定しています。

また、HP もますます充実させていきたいと思ひますので、

ご意見やご感想がありましたら、ぜひ広報部員までお知らせください。

